

マダニによる感染症にご注意ください！

予防のためには、マダニに咬まれないことが重要です！

マダニとは・・・

- 森林や草地など屋外に生息する比較的大型のダニです。
(大きさ:吸血前 3~8mm、吸血後 10~20mm)
- シカやイノシシなどの野生動物が出没する環境に多く生息しています。
民家の裏山や裏庭、畑、あぜ道などにもいます。
- 春~秋(3~11月)にかけて活動が活発になります。
- マダニは、比較的やわらかい部位の皮膚に咬みつきます。咬まれた直後は自覚症状がなく、気づかないことも多いと言われています。

フタゲチマダニ



タカサゴキララマダニ



出典: 国立感染症研究所

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは・・・

- マダニが媒介する感染症です。
- ウイルスを保有するマダニに咬まれることで感染します。

※国の調査によると、SFTSウイルスを保有するマダニは全国に生息していると報告されています。(ウイルス保有率: 5~15%) 国立感染症研究所IASRより



ドクターピンク

【潜伏期間】

6日~2週間程度

【症状】

発熱、消化器症状(食欲低下、嘔吐、下痢など)
重症化し、死亡することもあります。

【その他】

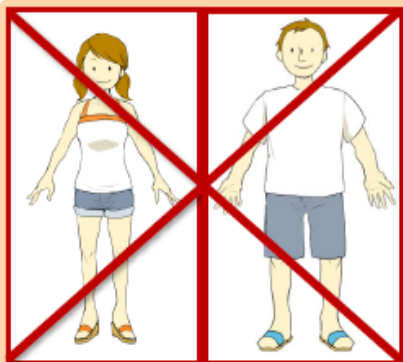
有効な治療薬やワクチンはありません。

マダニが媒介する感染症は、SFTSのほか、日本紅斑熱やライム病などがあります。
また、マダニではありませんが、ダニの一種であるツツガムシが媒介するツツガムシ病もあります。

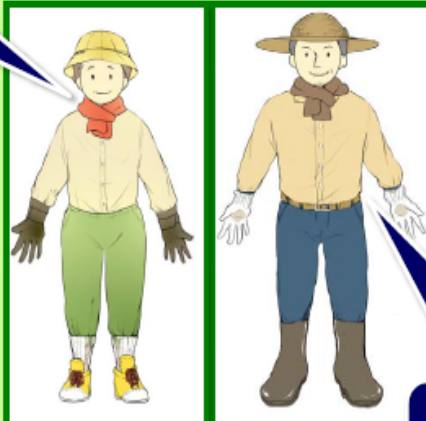
マダニに咬まれないためには・・・

- 草むら等マダニが多く生息する場所に入る際には、腕、足、首など**肌の露出を少なくしましょう。**

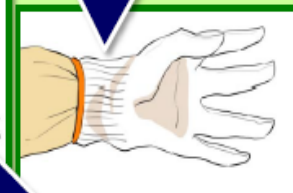
首にはタオルを巻くか、**ハイネックのシャツ**を着用しましょう。



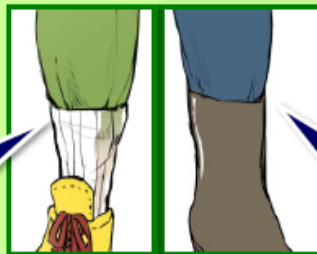
半ズボンやサンダル履きは不適當です！



シャツの袖口は軍手や手袋の中に入れてみましょう。



シャツの裾はズボンの中に入れてみましょう。



ハイキングなどで山林に入る場合は、**ズボンの裾**に靴下を被せましょう。

農作業や草刈などでは**ズボンの裾**は長靴の中に入れてみましょう。

出典：国立感染症研究所パンフレット

- DEET(ディート)を含む虫除けスプレーは、補助的な効果があると言われています。
- 屋外から戻った後は、衣服や体にマダニがついていないかよく確認してください。また、着ていた服は家の中で放置しないようにしましょう。

もしマダニに咬まれてしまったら・・・

- 吸血中のマダニに気づいたら、無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科、外科)を受診してください。
- 屋外活動の後、発熱などの症状が出た場合には、速やかに医療機関を受診してください。



ドクターピンク

ご相談は、最寄りの保健福祉センターへご連絡ください